いずみ
発行所　福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

参議院議員選挙の投票結果

六月二日執行された参議院議員通常選挙は、告示以来投票率の低下が強く憂慮されたが、棄権防止運動と選挙人の認識、恵まれた好天によって予想以上の投票率を挙げ、即日午後八時から開票が行われた。

○投票状況

選挙当日の有権者数

男	一、五五一
女	一、四九五
計	三、〇四六
投票者数	
男	一、三〇三
女	一、一七八
計	二、四八一
棄権者数	
男	二四八
女	三一七
計	五六五
投票率	
男	八四・〇一％
女	七八・八〇％
計	八一・四五％

○投票結果（地方区）

高橋　衛	一、四六四
斉木　重一	九二八
有効投票総数	二、三九二
無効投票総数	八九
投票者数	二、四八一

○投票結果（全国区）

得票総数	二、四〇二
有効投票数	二、四〇二
無効投票数	七九
投票総数	二、四八一

○候補者別得票数（七十四名）

田中　清一	一、四四二
阿具根　登	三九四
加賀山之雄	九六
鈴木　恭一	四三
小西　英雄	三三
森田　義衛	二八
米田　正文	二八
鶴園　哲夫	二八
奥むめお	二六
下村　定	一七
千葉千代世	一六
大谷よし雄	一四
石谷　憲男	一四
辻　政信	一四
向井　長年	一三
林　塩	一二
鹿島守之助	一一
横山　フク	九
久保　等	九
山本伊三郎	八
椿　精一	八
真崎　勝次	八
木村禧八郎	七
宮腰　喜助	七
山本　すぎ	六
赤松　常子	六
中尾　辰義	五
山口　重彦	五
原島　宏治	五
徳永　正利	五
大木　実	六
須藤　五郎	六
小平　芳平	七
前田　久吉	八
高野　一夫	八
青山　正一	八
青木　一男	八
梶原　茂嘉	八
石田　次男	三
北畠　教真	三
大坪　藤市	三
後藤　俊男	三
野田　耕作	三
松本治一郎	二
野本　品吉	二
米内　一郎	二
大倉　精一	二
永岡　光治	二
上林　忠次	二
高瀬荘太郎	二
金丸　冨夫	二
柴谷　栄	二
美念ゆめろむ	二
小田　俊与	二
中川源一郎	一
斎藤　時郎	一
鮎川　義介	一
佐々木　庸	一
鈴木　市蔵	一
野上　元	一
岡　三郎	一
井上善十郎	一
山沢またつ	一
井上ナツエ	一
迫　千代子	一
牛田　寛	一
駒沢　文雄	一
塩冶　竹雄	一
浅沼美知雄	一
伊藤　修	一
小川・市吉	一
豊瀬　禎一	一
川上　為治	一
福島　勝	一

人事

昭和三十三年度下穴馬農協役員

新任組合長　山内　守
専務　木島　政雄
辞任組合長　山本　清孝
専務　三島　勇

田中清一氏、参議員当選についてよろこびの辞

石神　慶之助

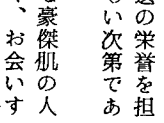
今度の参議院議員の改選にあたり郷土が生んだ田中清一氏が当選の栄誉を担われて寔によろこばしい次第であります。

元来田中氏は磊落な豪傑肌の人で親しみ易く交り易く、お会いするたびに大言壮語の理想論を吐かれるその一言一句たるや到底凡人の考えも及ばない事計りである。

その構想はいつでも皇室尊重の愛国論で、それが決して空想論でなく、よく研究に研究を重ね調査に調査を重ね整然として間髪を入れる余地もありません。その明晰な頭脳には驚く外なく、殊に考案発明機械技術にかけては碩学者であり、又斯界の権威者であります。

之を如実に物語る所以は、氏の考案に係る新国土建設の中央縦貫高速自動車道路の設計を見ても明らかである。即ち氏が多くの年月を費し自費を投じ実地踏査を行い設計を作製し、建設工費の出資する国土建設一円貯金会を組織し、総ての賠立てが出来たので一野人でありながら、これを国会に提案の手続を取り、昭和三十二年衆参両院を通過し已に法律化されています。

この名案たるや交通運輸の至便は勿論、日本の現状として最も憂慮すべき食糧問題は解決し、埋没



等による山林地下資源に恵ぐまれ景勝なる観光施設も整備し、外人を誘致するまでに到らしめたならば、これをおいて何を総合開発と申しましようか。それこそ国家は富み文化は向上発達し、明るい新国土が誕生する事になります。

尚、氏が数年来より構想し、皇室にも御伺いしているという皇室移転説の如きも、実に遠大なる国民として考慮すべき重要な問題と思われます。

今や議政壇上の人となつた氏の脳内には、祖国日本の新国土建設に関連するいくつかの重大問題、政治経済国防等が交流している。必ず非凡の手腕を縦横無尽に振い国家の将来に光明を放つことであろう。

昭和三十二年第二十六回国会に於て田中プランが通過した際これを祝して。

田中案通り桜の国光る　楽山

六月公民館強調目標

つゆ時の健康に注意しましよう

△第一食物に気をつけて下さい

△家の中へ日光のあたるよう、風通しのよいようにして下さい

△食物、衣類、宿具、身体を清潔にしましよう

△住居の便所、厩、流物、ゴミ捨場等に殺虫剤を散布しましよう

△労働の後は適当な休養をとりましよう

税金教室

村民税は県民税と合せて一般に住民税とよばれています。村民税は個人に課する村民税と、法人及び法人でない社団又は財団で代表者又は管理人の定めのあるものに対して課する村民税とにわかれます。個人の住民税の納税義務者は村内に住所を有する個人です。また村内に住所はなくとも事務所、事業所または家屋敷を有する個人も個人の住民税を納めなければならない義務があります。いずれも毎年一月一日現在において住所などがどの村にあるかで決定されます。

ただし次に掲げるものには課税されません。

一、前年中に所得がなかったもの

一、生活保護法の生活扶助を受けているもの

一、不具者、未成年者、六十五歳以上の老人または寡婦、また夫が均等割の納税義務を負う場合は妻には均等割は課税されませんが、夫が均等割の納税義務を負わない場合には、その夫と生計を一ツにしている妻には均等割が課税されます。

均等割とは金持でも貧乏人でも同じ額の負担をすることで、市町村の人口に依つて三段階に分けられています。所得割には課税方式が三通りありますが、本村では第一課税方式または「オプショワン」とよんでいる所得税額を課税標準として、住民税所得割を課税しています。

すなわち本村では昭和三十三年度において所得税（申告所得税、源泉所得税）を納めない人には住民税の所得割は課税されません。

【税率】

個人均等割　三〇〇円

個人所得割

所得税額の百分の二八

法人均等割　一、八〇〇円

法人税割

法人税額の百分の八・一

徴収は年四回（六月、八月、十月翌年一月）に分けて納めるのですが、均等割のみの方は一回（六月）に納める事になっています。

この公報が皆さんの御手元にとどく頃、住民税の徴税令書が交付されますから、令書の内容を良く御調べになつて、御不審の点がありましたら役場又は支所税務係にお尋ねになつて下さい。くわしく説明も致しますし間違いは訂正致します。（税務係）

農業

【稲作】

◆中耕除草は計画的に早目に

年々早植になる傾向があるが、早植は早植に応じた肥培管理がなされなければならない。一般に早植は多肥で補うと云うような気運が強いが、これでは倒伏や病害虫の発生を誘発して必ずしも多収にはならない。追々中耕除草等の植付後の管理作業も早まっているが、まだまだ第一回の中耕除草の着手が遅れ勝ちである。

田植後の稲は概して肉眼観察では、養分が吸収されて同化作用によつて葉色に現われ、初めて活着したと思われるが、稲の方から見ると、もつと早くて、外観に現われるのと大分ずれがある事を知る必要がある。

要は早目に着手して早目に切り上げ、幼穂形成期に近くなつて行なう中耕等の断根の害を防ぐことが重要である。その中耕除草のめやすは次のようである。

早稲　「第一回」　五月下旬～六月上旬

「第二回」　六月中旬

「第三回」　六月下旬（除草止草）

中稲　「第一回」　六月上旬

「第二回」　六月中下旬

「第三回」　七月上旬（除草止草）

以上のようであるが細部については農業改良普及員に御相談下さい。

◆追肥は作況をみてやる

元肥と穂肥を主体にして中耕除草の都度追肥を施す習慣はやめる

穂肥をやれるような稲にするため中間追肥は元肥の施肥量と農家の経験から作況をみて施すが、穂肥に接近した追肥は廃止した方が良い。

◆間断排水と中干し

活着後かち最高分けつ期にかけて、稲深水に経過した水田も梅雨明けの月末頃から中干しの準備を始める。湿田地帯は間断排水法を実施し根腐れの防止に努める。

◆稲熱病、泥背虫の防除

今月に入ると気温も湿度も高まり、稲の生育も進み、稲熱病が発生するから早期発見に努め早期防除すること。少々の雨降りでも薬剤散布の効果があります。

泥背虫は被害の大きくならないうちにBHC一～三％粉剤、DDT五％粉剤を一〇アール（一反歩）当り三瓩散布して防除する。尚、稲熱病防除にはセレサン石灰一〇アール当三瓩散布、銅水銀粉剤でも良い。

学童習字入賞者

若越書道会主催、和泉村学童競書会本年度の入賞者は次の通り

◇特選

洞口美好（朝小四）　宮原秀隆（朝小五）　池田憲子（日小六）　永瀬典子（東中一）　美濃島幸子（東中二）　阿部昌代（東中三）

◇金賞

小野利明（納小四）　石神慶一郎（日小四）　池田叶子（日小五）　谷口静子（和小五）　田中好人（日小六）　山岸輝治（納小六）　若山富代（東中一）　平野ふみ子（朝中一）　阿部哲夫（東中二）　洞口明子（朝中三）　長谷川弘（東中三）

◇銀賞

中川久夫（日小四）　古川清美（和小四）　木島正哲（日小四）　山本純子（佐藤れい子（朝小四）　中谷順教（和小五）　古川清澄（三隅信一（納小五）　古川清澄（朝小五）　下出富美子（朝小六）　小川信弘（和小六）　梅本和比己（納小六）　岩城慶四郎（納小六）　石神和晴（東中一）　越義明（東中一）　坂元恵美子（納中一）　田島公平（東中二）　石神清（東中二）　森尾晴美（朝中二）　坪井勝利（納中二）　横山勝利（東中三）　若山和恵（東中三）　宮腰都子（納中三）　尾崎庸夫（朝中三）

◇銅賞

小野木栄三（納小四）　宇野章一郎（下小四）　徳本幸男（和小四）　池尾秀俊（和小四）　小世英雄（朝小四）　若林一夫（和小五）　杉本吉次（日小五）　松田栄治（下小五）　米倉博和（朝小五）　道岸隆敏（納小五）　木島義人（日小六）　中出厚子（納小六）　松田信子（下小六）　山下ひとみ（納小六）　末永美智子（朝小六）　谷口昇（朝中一）　島田玲子（納中一）　山本光子（東中一）　木島章嘉（東中一）　表民子（朝中一）　里古悦子（東中二）　津田強（朝中二）　杉山利彦（東中二）　長谷川芙美子（東中二）　小野木信子（納中二）　小沢恭子（東中三）　林和子（東中三）　杉本亜治（朝中三）　徳久妙子（納中三）　阿部久枝（東中三）

人のうごき

【出生】

野尻　大牧久美子　守　長女
下山　山口　君子　豊成長女
〃　山口　信子　〃　弐女
〃　島田恵美子　巌　四女
上半原　三島由美子　富男長女
伊勢　谷口　鳴海　助三郎弐女
荷暮　島内　治和　真治長男
上大納　登　悦男　久男長男
箱ケ瀬　美濃島正明　明　長男
朝日　山本　智裕　周一長女
川合　平野　邦子　治　参女
中竜　田中　重彦　繁男長男
〃　小林　稔　徳重弐男
〃　黄倉　琴美　武志長女
〃　松橋　明美　正夫長女
〃　鳥谷部千代子　金次郎弐女

【婚姻】

○神戸市葺合区　大岸　正市　貝皿　山本まさ子
○長野　大西　和馬
岐阜市梅林　大平三音子
○岐阜県郡上郡白鳥　石田　明
下半原　横山ヒサ子
○小谷堂　上杉藤九治
岐阜県郡上郡白鳥　市川加代子

【死亡】

面谷　池田　仁作
〃　柳瀬　たね
伊勢　徳本　とま
野尻　佐藤　重義

◇

筆のさんぽ道

金さえあれば 偉いわけではない

人生とは「河」の様なものであると思う。人々はこれを見て色々の想念を起すであろう。或る人は泳ぐのにいいと思うであろうし又、ある人は釣をするのにいいと考えるかも知れないし、又田畑へ水を引くのにいいと考える人もあるかも知れないし又「せんだく」をするのにいい所だと思う人もある事だろうと思う。

人生も又この様なものではなかろうか？　その人各人の観ずる所に従って価値の置き所が違って来るのではなかろうか？　ある人は業を成すのによい所だと思い又、ある人は名をあげるのにいい所だと考え又、ある人は金をためるのにいい所だと考えるのではないだろうか。

ところでこの世の中には金をこしらえたがる人は実に多い様に思う。殊に事業や商売をやっておれば、金が出来るという事は自分も満足であろうし、人からも一応成功者と見られるものである。

何をしたとて肝じんのものがなくては今の世の中は始らないという言葉をよく耳にする。業界に知られる人達が、その方面に金銭的成功者と見られるのは、やはり意味のない事ではない。こうした人達は必ずしも金力にものを云わせて居るわけではなく、金が出来る程までに充実した事業歴やその業績に光を認められたからであると思う。

ところで世の中にはこれを曲解して考えている人達がいる様に思う。つまり何でもかんでも金さえ作ればいい。その手段はどうあろうと最後の勝利は金を摑むことである、と云うのである。こんな考えの人はいくら金を持っていても成功者とはいいたくてもいう事は出来ない。

又金を持っているという事だけで、一種の特権意識を振り廻す人も世の中には居る。事業なり商売なりで、お金をこしらえたと云うならば一応成功者としても認められようが、親からそれを受ついだと云うだけで成功者らしい顔をされるのには、全く鼻もちならぬものを感ずるのである。お金があるとか又持っている、と云う事に意義があるのではなく、それをこしらえた努力、業績に対して人々は敬意を払うのである。

『いい子』とはどんな子か

人生哲学

私達は殆ど習慣的に「いい子」という言葉を使っているが、その意味は漠然としていて、はっきりしない。果して「いい子」とはどんな子を指すのであろうか。

以前のわが国では親のいいつけをよく守る子、すなおな子、親に孝行が出来るように育つ子のことを「いい子」だと思っていた。しかし今日ではこうした考え方が、必ずしも正しいとは言えないのである。勿論親のいいつけは守って欲しいし、孝行もしてほしい。だが子供はそのように親の為にばかりあるものではない。

子供はまず何よりもその子供自身の為にあるものであると考えなくてはならなくなったのである。何でもかでもめくらめっぽうに親のいいつけを守るように育てるのでなく、その子が次第に生長するに従って自分で自分の生きる道を切り開いて行ける子に育てると言う事が躾けの眼目になっている。

その為には親に取って好ましくない性格であっても、それがその子の将来の自主独立性を助けるものであれば、社会悪とならざる限り助長してやらねばならない。子には子の天分もあり、希望もあるのであるから、親の意見と対立するような事があっても、それが「自分の事は自分の判断で決めよう」という自主性に基づくものなれば、むやみに矯正したり反対したりしない方がよろしい。

要するに自主独立出来る力と、判断力のある子供を育てるのが親の役目である。子供は親の従属物ではなくなった。どこ迄も子供は社会の一員として将来独立で社会の人々と伍し、その中で社会の為に必要な人間となるように育てていかなければならないのである。だから幼い頃から自分の事は自分でさせるという躾けをして、そういう方向へ子供を育てていかないと社会へ出てから下積みになったり落伍者となってしまうのである。

「いい子」に育てるということはむつかしい事である。

遺児 靖国神社へ

戦没者遺児靖国神社参拝は、五月二十六日午前九時四十分福井駅発臨時列車にて県下一、〇六八人の遺児団と共に出発し、二十七日靖国神社で亡きお父さんと対面し霊を慰めた。

二十七、八日都内、鎌倉、江の島等を見物し、二十九日全員無事帰宅した。

今度参拝した遺児

東部中学校　林　武士
〃　野田　栄治
〃　若山　征子
大納中学校　吉本征一郎
〃　内山千恵子

靖国神社参拝

東部中学三年　林　武士

五月二十七日、この日こそ僕達が一日千秋の思いで待っていた靖国神社参拝に出発する日である。

父を失った僕達にとっては、指を折って待っていた日であり、又生涯忘れられない日となるであろう。

朝から天候もよく晴れて、家の人達に見送られながら出発し途中で二人の友とも一緒になって福井に向った。

福井で一夜を明かし、すがすがしい気持で県庁の広場へ集まったがもう沢山の人が来ていた。

太平洋戦争に父を失ない、家や多くの物をも失った人達がこの広場へ来ている事であろう。人は段々と多くなって来る。やがて県知事さんや他の人々のお話をきいて駅に向かい、駅では見送りの人々が蟻の様に沢山集っていた。

別れのテープを切って「元気で行って来ます」と汽車は走り出した。

途中色々な所を通り、ネオンの海大東京へ着いたのは夜の十時半頃であった。バスで宿に向かい床についたが、明日まだ会ったことのない写真で見ただけの父に会えると思うとなかなかねむられなかった。それでも長い旅につかれたのか、目がさめた時はもうすっかり夜は明けていた。

僕達は観光バスで第一番に靖国神社に向って走った。神社では父が今頃僕を待っている事でしょう靖国の門をくぐって昇殿で待ち、国会議員や係の人のお話を聞いて僕達が参拝する事になって、手を洗いました。

さあ父との対面が近ずいたのです。僕は父の前に進み出た。さぞ父も僕が来る日を待ちに待っていた事でしょう。

あの大戦争に命を投げ出して戦った父。日本を救おうと立ち上がった父や人々。今はこの靖国の神として静かに眠っておられる事でしょう。僕はさらに父の前にすすみ出た。父も僕の方へ一歩近ずいた事でしょう。父との対面。僕は目をつむった。写真で見ている父の顔……お父さん。僕は生れて始めて言ったことばです。僕はこんなに大きくなりました。ごらんの様に元気です。見て下さい……なぜ死んだのです。やがてつむっていた眼を明けた。悲しい空気であたりは一ぱいだ。父も天国から見ているでしょう。

「さようなら」心の中でつぶやいて会館へ行って休んだ。それから上野、宮城、その他を見学して二日目は暮れた。

三日目は議事堂、横浜、長谷の大仏を見学して帰った。残念な事に富士山が見えなかった。こうして長い旅行をおえ福井から家につい た。

増産について

十年前迄は化学肥料と云えば硫安、石灰窒素、過燐酸石灰、塩化加里位の物であったのが、戦後三四年たつと尿素、塩安、溶成燐肥を始めとしてそれぞれ特長を持った肥料が売り出された。だから私達は土地作物に適した肥料を選んで、施肥を合理化して多収穫を得る事が出来る様になりました。

しかしこれが為に新しい肥料の特長を知る事が先決問題となるのでありますから、私はこれらの新しい肥料について少々お話をしたいと思います。

まず三要素のうち、重要な窒素について、第一に尿素の肥効ですが、硫安や石灰窒素の含有量は二十%で、即ちこれらの肥料は百分の二十位の窒素しか含まれていないのですが、尿素は四十五%即ち百分の四十五窒素を含んでいるのでありますから、倍以上の肥効があるのです。しかも硫安等は土地を酸性化して連年使用は出来ないのでありますが、尿素は決して土壌を酸性化しませんから安心して使用が出来ます。且つ粒状でありますから使用が非常に楽なのと、徐々に分解するので肥効が長く続く等の特長があります。しかし又欠点もあります。

尿素はそのままでは稲に吸収されないので、土中のバクテリヤの作用を受けてアンモニヤに変る。この変化は夏で三日か四日、春秋は一週間前後かかるので、その期間中流亡し易いのでこの期間中は水のかけ流しや深水は絶対してはならないのです。一旦アンモニヤに変化すれば、水にもよく溶け土壌にも吸着しやすくなり、又稲にも吸収される様になりますから、もう大丈夫ですが、それ迄は余程注意が必要なのです。

（硫安、硝安、塩安、其の他の窒素肥料は略します）

◇　燐酸質肥料

多く使用しているのは溶成燐肥ですから、これについてお話をします。この肥料の成分量は燐酸全量一九・二%内二%ク塩酸に溶ける燐酸一八・八%、珪酸二七・五%鉄三・六%、礬土一・九%、石灰二八・二%、苦土二〇・七%これだけの物で出来ているのでありますがこの内是非必要な物について申ますと、この燐酸は稲の根の先より出るク塩酸の働きに依りて、水に溶け土に吸収せられ、必要に応じて稲に吸収せられて葉茎を作るのであり、必要欠くべからざる肥料であります。珪酸は水に溶けて根先より吸収せられ葉茎の外面に付着し茎を丈夫にして倒伏を防ぎ、且病菌の浸入を防ぐ役をなす、故にこの肥料を施せば稲は強健に育ち増収の原因となる。石灰、苦土も殆どこれとよく似た働きをなし稲の強壮多収穫の因となるのであります。

第三に特殊成分肥料とはどんな肥料かと申しますと、今迄一般に見とめられていた窒素、燐酸、加里、石灰の外に炭素、水素、酸素苦土、硫黄、鉄、硼素、マンガン銅、亜鉛、モリブテンの十一元素の必要なる事を認められたのでありまして、これを特殊成分肥料というのであります。しかしながらこれら合計十五種の元素を全部肥料として施す必要があるかと申しますと、決してそうではありません。この中には、天恵に依り自然に施される物は沢山ありますからまず大体に於て窒素、燐酸、加里石灰、苦土、珪酸、これぐらいの物は是非施用する必要があると思います。

部落探訪

川合部落の起り（続）

その他七人塚、的場など種々名称あり河内の守在住当時が、しのばれる。したがって相当古きより開拓せられし事が推察出来る。

当時の石徹白川は、川合部落「上黒淵」にぶつかり、部落下方を横断し「その箇所を橋戸と云う」真東に当り「現在沼田地区」朝日舟場の山「俗に朝日出合いと云う」に当り、朝日郵便局の下、元部落のすそを流れて、板倉上方にて現在の川となったそうである。

泰澄大師、石徹白村を開拓せられしより、河川も大きくなり、九頭竜川本流も、立木伐採や土地開墾に依り、出水大量となって現在の河川に変ったと伝え聞く。大昔は両岸の柳と柳が結ばれたと云う

又長野地区、下の淵（堂角と称す）岩の上に神社あり、（当時は川幅せまき故）ある夜、川合喜右衛門の枕上に、お立ちになり、当地は近く川とならん、予は川合へ行きたいから、話をして川合へ移してくれと、神様のお告げがあった。早速両区相談の上、川合「下の宮」へお移し申し、喜右衛門が代々祭主となっている。

現在、堂角の神様として、お祭に拝んでいる木像様で、さほど立派なおすがたでもないが、あらたかな神様である。その昔、お堂があったので今でも堂角の淵と言う

（川合　新井太郎）

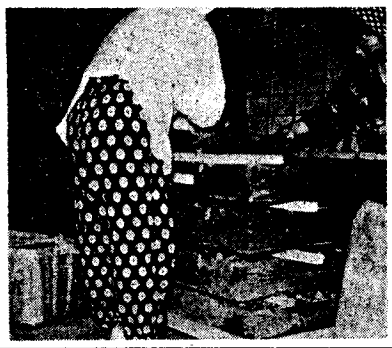
いずみ俳壇

〝群蜂〟主宰榎本冬一郎先生
歓迎句会抄　五・三一　保育園

冬一郎先生選

松橋紀代二
夜勤つづく妻を短夜の浮標とす
木下いさを
もぐらの胸にバラが欲しいシャボン玉
福沢　竜峰
帽灯充血梅雨雲破れない夕陽
小田　喜風
春光に盲目の斧狂いなく
伴　俊孝
坑夫我にみどり総立つ退勤時
高野　清
真赤な鉄ハンマー振れば夏に夏
中出　芳乃
満目の緑に座る鉱夫の婚

春蚕期をむかえて



今年もいよいよ養蚕の時期が迫つてきました。六月二日掃立を致し、全部稚蚕共同飼育をして十二日頃各家へ分配の予定です。

蚕品種は秋花×銀嶺と云う蚕で強健で経過が早い。各令の桑付から盛食期の移り方が早いから、絶対に厚飼をせぬよう蚕座を早目に広げる事が必要であります。この蚕には、このような特性がありますから注意して育てて下さい。

尚本年、春繭価格の見通しはこと二、三年来にない高価が予想されていますので、一粒の繭でも多く出して下さい。

〔飼育上の注意事項〕

一、特に三令中の桑は最も日当りのよい、硬い桑を与えること

二、夜間の冷湿は蚕が不作する大きな原因であるから、夜間の保温に注意すること

三、壮蚕期には一日一回石灰の散布、雨天の時には特に実施すること

四、絶対に厚飼をせぬこと

五、各令の桑付は大体蚕が八割程度起きた時行う事、桑付の遅いのは異作の原因です

漁業組合だより

鮎の放流について

一年きりの魚族で而も釣期間が短時日で一面実に不経済な投資のようにも思われるが、年と共に組合員の中にも（自称ではあるが）釣天狗が続々とあらわれ、一尾釣つたらその気分や味合いを忘れられず遂に病付きになるのが鮎釣りだそうである。七月一日の解禁日を、一日千秋の思いで待って居られる愛好家も今年は一五〇人位と想像されます。

処で肝賢の鮎ですが、各方面の要望に応えて今年は約二万尾をふやし十万尾放流した。放流箇所は

下山谷山口　四、〇〇〇尾
谷戸口から長野までに　四五、〇〇〇尾
後野橋　五、〇〇〇尾
前坂橋　四、〇〇〇尾
向郷橋　二〇、〇〇〇尾
持穴　一七、〇〇〇尾
荷暮川　五、〇〇〇尾

以上のように五月十七日、二十五日の二回に亘って放流致して居ります。数量がお金の関係上充分でないので、河川の価値や利用価値等を勘案して実施しましたが、今年は特に放流後の天候も順調であり、現在どんどん遡上致して居りますから、殆んど全域に亘ってお楽しみいただけると考えられます大野、勝山附近のものと比較して味覚に於ても量匁に於ても優って居るので、市場に出荷致しましても値も高く、大変喜ばれますので今年も村内消費の分を除き毎日組合で一括して市場へ出荷する計画を立てております。精々御利用下さい。鮎の解禁日は七月一日です

赤点及びベニマス放流

当組合の養漁場で孵化しました赤点アマゴとベニ鱒の稚魚が順調に生長致しましたので、採卵当時から御指導をいただきました県水産試験場の石田技師の立合いで、大納川及び石徹白地区内の河川へ夫々放流致しました。

最後にお願い

涸渇しきった資源を得るために毎年多額の資本を投じて放流事業を行って居りますので、地区外の方で無札で入漁する人のないよう御協力をお願いします。各部落に一人宛係員がおりますし、入漁証もいつでも発行出来るようになっております。折角の尊い我々地域の者の資源を無断で而も不法濫獲されることを絶対に防止していただきたいのであります。